

デッサンと表現技法

2 units 2nd-year(2nd semester)

Mitsuru Hiraki · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 絵画表現や絵画を考える上での基礎となるものがデッサンである。ただ単に上手に描くことを目的とするのではなく、デッサンを身に付けることによって自然界の作り出す規則性やリズムの法則を観察の中から見つけだしてほしい。また、デッサンを深めることにより人間の目が持つ機能の曖昧さや三次元を二次元に写し取ることの矛盾を知ることができれば現代美術の理解につながって来る。具体的には鉛筆による石膏デッサンを通して画面構成、空間表現、立体感、量感、質感にせまる表現を学習する。また、デッサンによる表現として小さな物を拡大して描く細密拡大描写をする。

Outline) 絵画表現の基礎

Keyword) *painting, art, arts*

Relational Lecture) “[絵画表現研究](#)”(0.5), “[造形表現基礎](#)”(0.5), “[現代絵画論](#)”(0.5)

Goal) デッサンの基本を習得する。

Schedule)

1. デッサンについて・デッサンの目的
2. 鉛筆デッサンの描き方や考え方
3. 自然界の規則性について
4. 影と光の関係
5. 鉛筆による明暗の色の作り方
6. 鉛筆による比の取り方
7. 鉛筆による角度の計り方
8. 2. 鉛筆デッサン実技・石膏幾何形模型「球」
9. 石膏幾何形模型「円柱」
10. 石膏幾何形模型「多面体」
11. 石膏「女の足」
12. 石膏「女の手(ダビンチ作)」
13. 細密拡大描写「指」
14. 細密拡大描写「小物」
15. 細密拡大描写「小物」
16. 3. 批評会… 作品制作後に毎回批評会を行う。自作の作品についての感想を述べ合う。

Evaluation Criteria) 評価は、作品評価を基本として、出席や授業への取組み姿勢等を併用して行う。

Re-evaluation) 行わない

Textbook) 教科書は、使用しない。準備物として八つ切り画用紙か同寸のスケッチブック、HB、B、2Bの鉛筆、消しゴム又は練りゴムを持ってくること。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219068>

Contact)

⇒ Hiraki (103, +81-88-656-7167, hiraki@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 火曜日 12時~ 13時)